

令和元年度 栃木県立宇都宮南高等学校評価に関するアンケート結果報告

I はじめに

本校の教育活動改善に資する資料とするため、全校生徒950名と保護者を対象に9月10日(月)から25日(火)にかけて「学校評価に関するアンケート」を実施しました。昨年度同様、多くの保護者の皆様からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

アンケートの回答状況については次のとおりです。

回答数	生徒 941名(1年: 316名 2年: 312名 3年: 313名)
	保護者 801名(1年: 296名 2年: 258名 3年: 247名)
提出率	生徒 99.1% 保護者 84.3%

アンケートの結果については、次の点に留意しました。

- ① 回答項目のすべての回答状況をグラフ化し、特徴的なことを付記しました。
- ② 「生徒」「保護者」に共通する質問項目については、質問項目を領域ごとにA「学校のイメージ」、B「学習」、C「進路」、D「生活指導」、E「学校行事・部活動」、F「環境・施設」に分類し、両者のデータを並べて掲載しました。
- ③ 「生徒」「保護者」いずれかのみを対象とした質問項目については、個別に掲載しました。

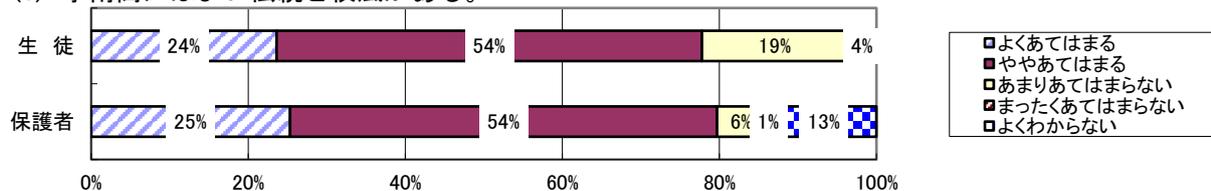
II アンケート結果概要

注:「よくわからない」という回答選択肢は、保護者対象のアンケートにのみ設けました。また、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせて、肯定的な評価としました。「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」を合わせて、否定的な評価とし、各質問項目の回答状況を説明しています。

(1) 生徒・保護者共通質問項目

A 学校のイメージについて

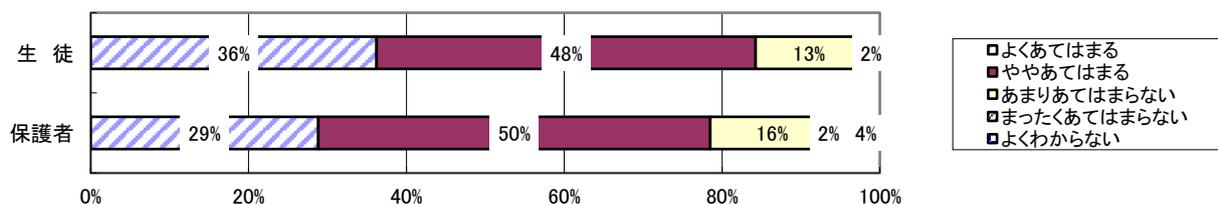
(1) 宇南高にはよい伝統と校風がある。



「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた肯定的な評価は、生徒、保護者ともに昨年度とほぼ同様の結果である。しかし、保護者の「よくわからない」という回答が例年10%を超えているが、今年度も13%だった。保護者への本校活動の周知をさらにはかる必要がある。

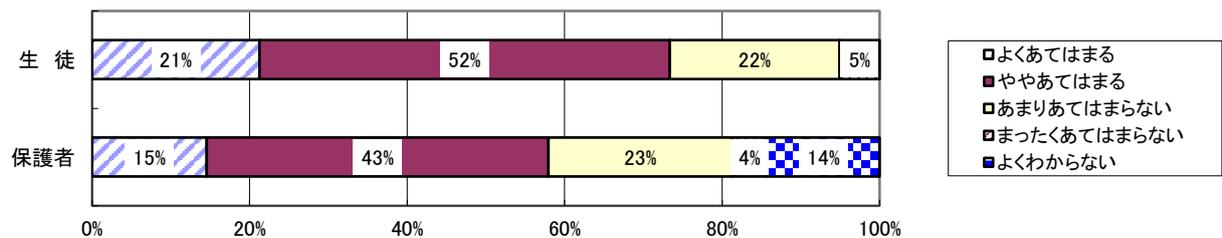
B 学習について

(4) 宇南高は、生徒の学力向上(課外・土曜開放)に力を入れて取り組んでいる。



生徒の肯定的な評価は84%、保護者は79%と、2年前から高い水準を維持している。ここ数年の学力向上への取組が浸透してきた成果であろうと思われる。課外や土曜開放は、教員・生徒相互の自助努力により成立するものであるが、学力向上に向けた取組をさらに充実させていきたい。

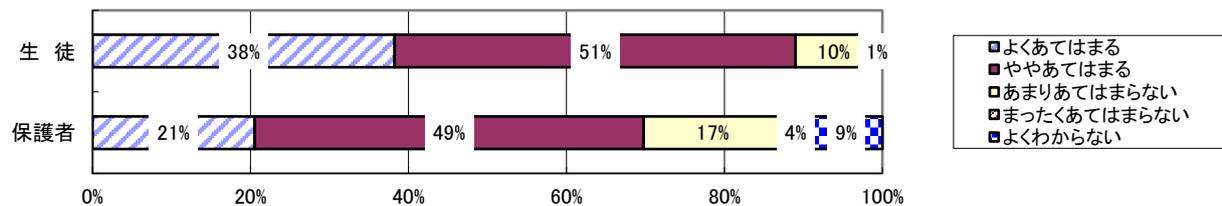
(13) 宇南高は、家庭学習時間の確保について適切に指導を行っている。



肯定的評価は、生徒、保護者ともほぼ昨年同様であり、7割の生徒が家庭学習に取り組んでいると回答しているが、保護者からの否定的評価が27%あることから、家庭学習はまだ十分とは言えない状況と思われる。今後も家庭学習習慣の定着に向け、たゆまぬ指導を心がけたい。

C 進路について

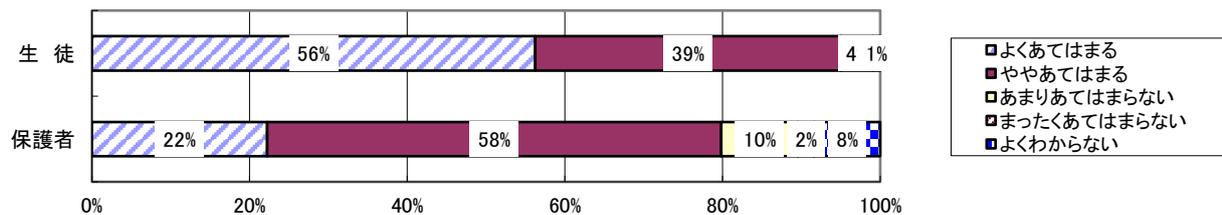
(5) 宇南高は、生徒の進路について適切な指導や情報提供を行っている。



生徒の肯定的評価については昨年度の86%から89%となったが、保護者は昨年比で1%減少し、70%となり、否定的評価も1%増加し、21%となった。保護者向けの進路講演会や、保護者懇談、資料配布等を通じて、さらなる情報提供を図る必要がある。

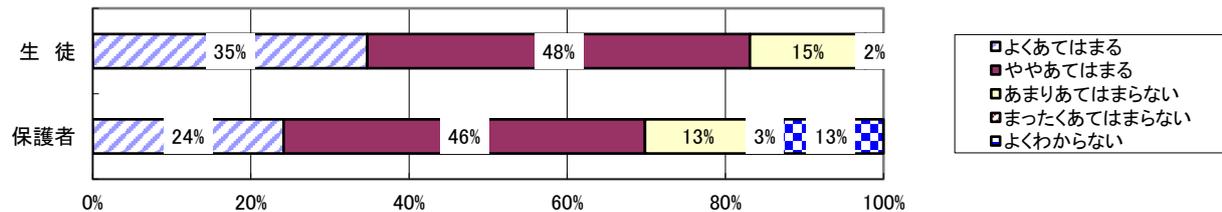
D 生活指導について

(6) 宇南高の生徒は、校則や社会のルールを理解し行動している。



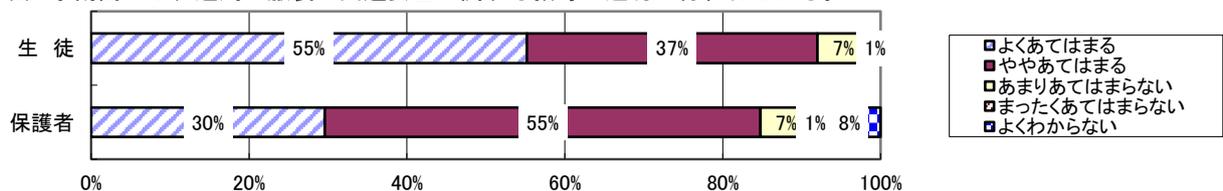
肯定的評価については、生徒、保護者とも昨年度と全く同じであった。生徒の回答だけで判断すると、生徒の規範意識は概ね良好ということになるが、保護者の回答と比較すると認識の違いが大きいことが分かる。これは、登下校時の交通マナー等で外部からしばしば批判を受けることを考え合わせると、生徒の行動に課題があると考えられる。また、社会のルールに合致しない行動を取っていてもそれを問題視していない傾向もあるように感じる。今後も保護者の協力を仰ぎながら、継続的に指導していく必要がある。

(7) 宇南高の先生は、生徒や保護者の悩みや相談に親身になって応じてくれる。



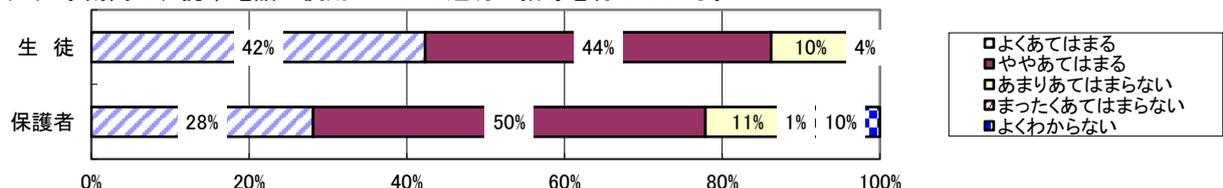
肯定的評価については、生徒が82%から83%、保護者が68%から70%と、それぞれ若干増加した。ただし、この設問に対して「まったくあてはまらない」と回答している生徒、保護者がそれぞれ2,3%存在しており、また否定的評価が16,17%あること、保護者の13%が「よくわからない」と回答していることから、今後とも保護者と緊密に連携を図り、個人懇談や日常的な生徒観察を通じて、潜在している生徒の不安や悩みも感知し、より適切な指導援助が行えるよう努めていく必要がある。

(8) 宇南高では、遅刻や服装・交通安全に関する指導が適切に行われている。



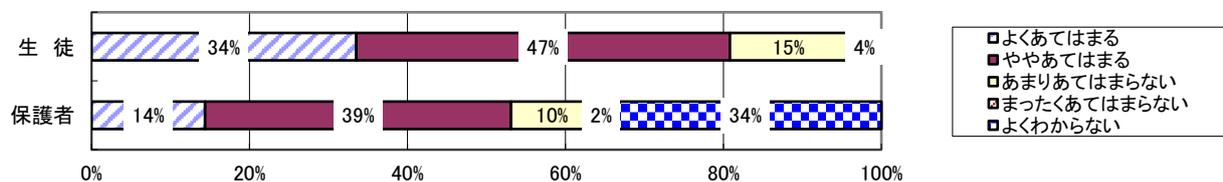
肯定的評価については、生徒はほぼ昨年度並みで、保護者は昨年度の81%から85%に増加した。しかし、保護者の「よくあてはまる」という評価は昨年度の32%から30%に減少している。今後とも保護者との連携を密にして協力を得ながら、特に生命に関わる交通安全指導については徹底を図る必要がある。

(14) 宇南高は、携帯電話の使用について適切に指導を行っている。



肯定的評価については、保護者は昨年度と同じで、生徒は昨年度の83%から86%に増加した。携帯電話の使用についてはマナーだけでなくその機能性の多様さも相まって、適切な使用の必要性が一層求められている。使用マナーに加えてSNS全般の健全使用について、保護者とも共通理解をはかりながら指導の徹底を継続していきたい。

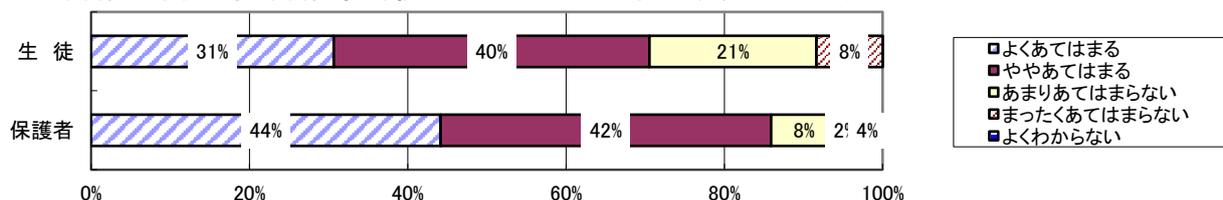
(15) 宇南高では、いじめ防止対策が適切に機能している。



生徒、保護者とも昨年度とはほぼ同じ分布となった。生徒は81%が肯定的評価を示しているのに対して、保護者は53%にとどまっており、「よくわからない」との回答も34%あることから、今後さらにいじめ防止対策の取り組み(恒常的な生徒の観察や、毎月実施されるいじめアンケート等)を徹底するとともに保護者に対する情報提供や連携強化に努めていきたい。

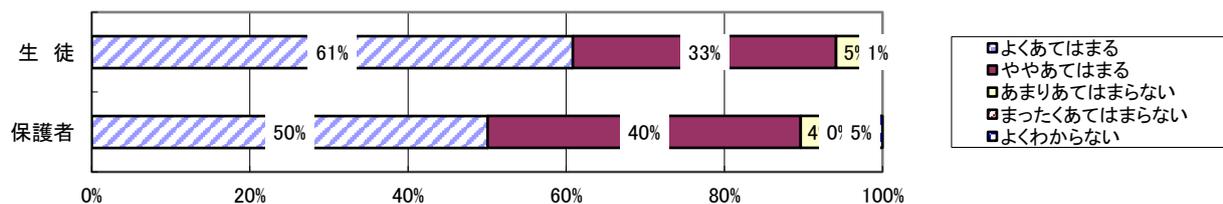
E 学校行事・部活動について

(9) 宇南高の学校行事(宇南高祭・球技大会・マラソン大会等)は充実している。



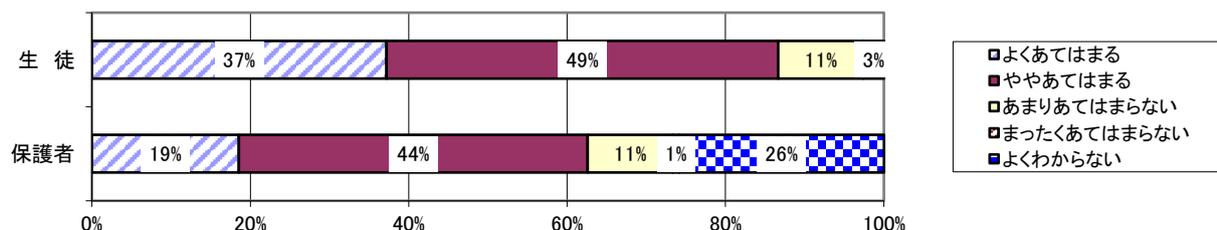
学校行事に対する肯定的評価は、保護者は昨年度とほぼ同じだったが、生徒は74%から71%に減少し、一方、否定的評価が25%から29%に増加した。学校行事については、今後も学校活性化と効率化の観点を踏まえ、より充実感の得られるものにしていきたい。

(10) 宇南高では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。



部活動については、肯定的評価が生徒は95%、保護者も90%と非常に高い評価を得ている。上位大会進出を果たしている部活動もあれば、そうでない部活動もあるが、大会等での結果にかかわらず、本校の部活動はおしなべて積極的に活動しており、本校の教育活動の特色化に貢献している。生徒会活動も含め、今後ともより一層の活性化を図っていきたい。

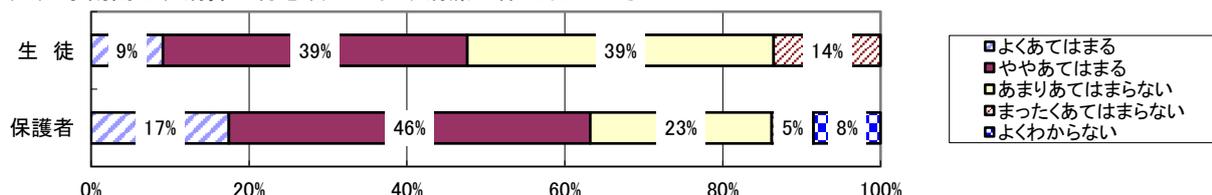
(16) 宇南高では、地域と連携した活動や、国際性を高める活動(インターアクト活動等)を積極的に行っている。



地域連携、国際理解教育においても、部活動同様、生徒の取組は良好であると考えられる。これらの活動は本校の特長の一つである。しかし、保護者の「よくわからない」という回答が昨年度の20%から26%に増加し、情報発信において課題があることが判明した。今後も地域連携、国際理解教育に積極的に取り組むとともに、保護者への周知を図れるよう努めていきたい。

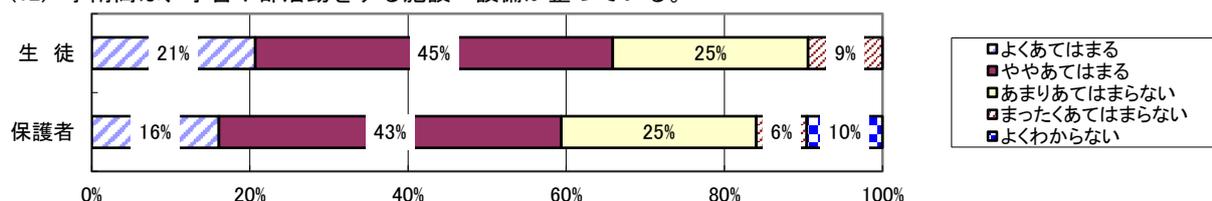
F 環境・施設について

(11) 宇南高は、清掃が行き届いており清潔に保たれている



保護者の評価は昨年度とほぼ同じだが、生徒の評価は昨年度は肯定的評価が53%否定的評価が47%、今年度は肯定的評価が47%、否定的評価が53%と、否定的評価が肯定的評価を上回った。本校は昼休みの後、清掃を実施しているため、時間は限られているが、清掃活動の重要性や環境美化の意義を理解し、短時間で効率的に清掃を実施できるよう指導していきたい。

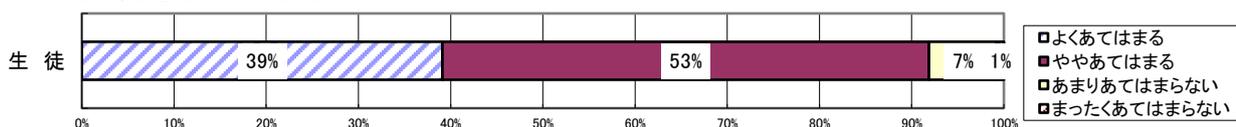
(12) 宇南高は、学習や部活動をする施設・設備が整っている。



生徒・保護者とも否定的評価が34%、31%と高かった。施設、設備については、これまで同様、県との調整を図りながら少しずつ改善し、保護者への周知も図っていきたい。

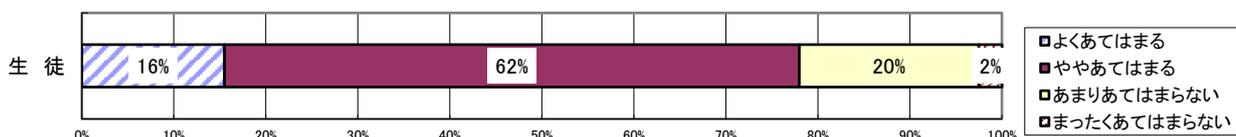
(2) 生徒だけへの質問項目

(15) 真剣な態度で授業を受けている。



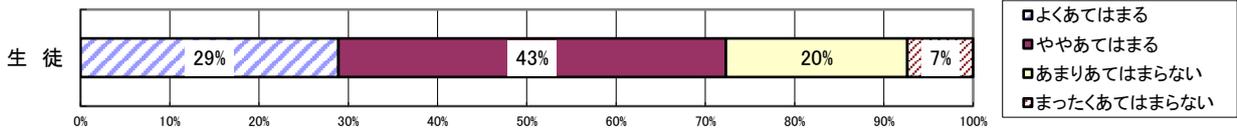
肯定的評価は、昨年度同様92%であり、生徒の授業に取り組む意識が高いことが表れている。授業は学校の教育活動の中心であり、真剣に取り組むことが何より重要であるが、家庭学習にも意欲的に取り組める生徒の育成が課題である。

(16) 宇南高の授業の教え方や説明はわかりやすい。



78%の生徒が肯定的評価を示しているが、否定的評価も22%ある。今後の教育改革、入試改革に向けて、わかりやすい授業を心がけ、生徒の興味関心を喚起し、主体性を引き出すことができるよう授業改善に取り組んでいきたい。

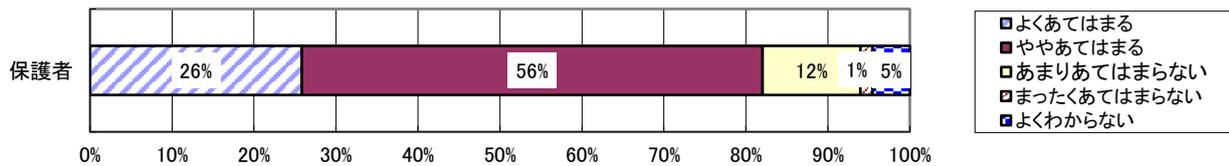
(17) 宇南高に入学してよかった。



学校満足度については、肯定的評価は昨年の74%から72%に減少し、否定的評価は昨年度の26%から27%に増加した。学習・進路・部活動・友人関係等、要因は複合的であるが、今後も学校の教育活動、指導体制のさらなる改善に向け、各部・各学年・各教師が連携を図り、よりよい学校づくりに取り組み、学校の魅力をさらに高めていきたい。

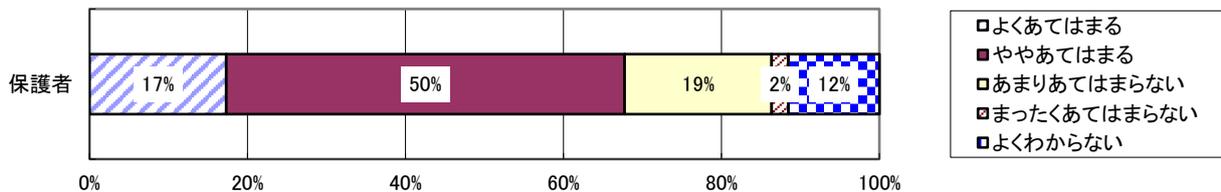
(3) 保護者だけへの質問項目

(18) 本校の教育活動に関心がある。



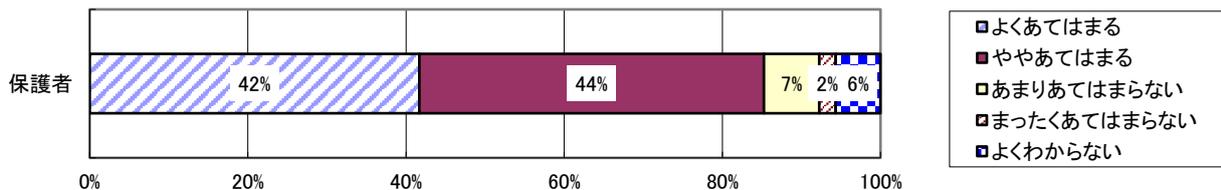
82%の保護者から本校の教育活動について関心をもっているとの回答が得られた。ただし、13%の保護者は否定的評価であり、「よくわからない」という回答も5%ある。本校の教育活動をより一層充実させ、保護者の関心をさらに高めるよう努めていきたい。

(19) 宇南高は、教育方針をPTA総会や学年会等でわかりやすく伝えている。



肯定的評価は67%と昨年度とほぼ同様であるが、否定的評価が昨年度の17%から21%へと増加した。教育方針の情報発信は依然として課題が残る。PTA総会等において発信する情報を改善し、またホームページ等の活用をさらに促進させ、本校の教育方針及び教育活動をわかりやすく伝えるよう努めていきたい。

(20) 自分の子供を宇南高に入学させてよかった。



ほぼ昨年同様の結果となり、86%の肯定的評価を得ることができた。今後も全職員一丸となって教育活動を充実させ、本校の教育力をさらに高めるよう努めるとともに、教育活動の様々な場面で保護者との連携強化を図ってきたい。